

『やまなし』

- 幻想的な水中世界
  - 水中世界
    - 「二枚の青い幻燈」と表現
    - 
      蟹の兄弟の目線を通して物語が展開
  - 谷川の底
    - 光と影が織りなす神秘的な空間
  - 美しい情景描写
    - 樺の花びらが流れる様子
    - 月光が水底まで透きとおる様子
- 季節の対比と生命の循環
  - 二部構成（5月と12月）
    - 季節の対比を描く
  - 
    5月
    - 新緑の季節の生命力溢れる様子
    - 蟹の兄弟が周囲の世界を理解しようとする姿
  - 
    12月
    - 成長した蟹の兄弟が泡の大きさを競い合う
    - 「やまなし」の登場
- 謎めいた「クラムボン」
  - 正体不明
    - 
      物語に深みを与える存在
    - 様々な解釈あれど正体を明かず
    - ⇒ 読者に想像の余地を与える
  - 兄弟の会話
    - 「クラムボンはわらったよ」
    - 「クラムボンは死んだよ」